

ひた向きに重ねた努力で全国に

渡瀬 孝則 さん



PROFILE

わたせ たかのり(大山・35)
株式会社榛原電業所属。趣味はサーフィンだが家族との時間優先。

全国大会の経験を糧に

電気工事の技術を競う第2回電気工事技能競技全国大会が11月25日、両国国技館で開催された。渡瀬孝則さんは中部ブロックの代表4人に選ばれ、この大会に静岡県勢として初出場を果たした。「今まで磨いてきた技術力を認められてうれしかった。不安もあったが、自分がどれだけやれるか挑戦してみようと思った」と渡瀬さんは当時の心境を率直に話してくれた。

競技は、与えられた図面と指示書を基に、約2対4の方の板を使って配線やコンセントの設置などを3時間以内に終わらせるというもの。出場が決まってから約2カ月間、仕事の合間を縫って、丁寧に作業することを心掛け練習を重ねた。「大会当日は緊張もあったが、全国レベルの技術を持った人たちと競うことができ、とてもいい刺激をもらった」と振り返る。

経験を受け継ぐ

渡瀬さんは6年前、手に職をつけ働きたいと思い、電気工事の業界に足を踏み入れ

た。「全くの未経験で大変なことも多かったが、職場の人に支えられ、こうして大会に出られるまでに成長できた」と感謝の気持ちを語る。

「自分が支えてもらった分、今度は後輩を支えたい。後輩にはたくさん経験を積んで技術を向上していつてほしい。そのために自分にできることがあればどんどん協力したい」と後輩の育成にも意欲を見せた。

常に上を目指して

渡瀬さんの今の目標は「1級電気工事施工管理技士」の資格を取得すること。「この資格を取ることは自分の技術力の証になるし、会社が提供するサービスの品質向上にもつながる。自分の成果が会社の成果につながるからより一層やる気がわく。おとし、一度受験してみて手応えを感じた。再挑戦して今度こそ合格したい」と資格取得へ思いを寄せる。

会社や周りの人の役に立ちたいと、常に知識や技術向上を目指し、努力を続ける渡瀬さんのさらなる活躍に期待したい。